

2026年3月30日

各位

株式会社 山口フィナンシャルグループ

サイバーセキュリティ強化に向けた日本IBMとの協業検討開始について

山口フィナンシャルグループ（代表取締役社長CEO 椋梨 敬介）は、地域金融サービスの安全性・信頼性を高めることを目的として、日本アイ・ビー・エム株式会社（代表取締役社長 山口 明夫以下、「日本IBM」）とサイバーセキュリティ領域における協業検討を開始しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 背景

近年、サイバー攻撃は高度化・巧妙化しており、金融機関には従来の防御に加え、早期検知と迅速な対応等の幅広い対応能力が求められています。また、専門人財の確保や複雑化するサプライチェーンの管理など、課題も増えています。これらの課題に対応するため、当社グループは日本IBMの知識・技術を活用し、「技術・運用・人財」の三方向からサイバーセキュリティの強化に向けた取り組みの検討を開始します。

2. 協業検討内容

<技術・運用面の取り組み>

- （1）アプリケーション、ネットワーク領域などのセキュリティ対策および監視体制の高度化
 - ・ 防御、検知対策および監視能力の向上に向けたセキュリティ強化策と実施計画について連携して検討を進めます。
- （2）耐量子計算機暗号（PQC）^{*}への将来的な移行を見据えた調査・評価の共同実施
 - ・ 量子コンピューター時代の暗号リスクに備えるため、PQCの影響評価および移行計画について連携して対応を進めます。
 - ・ 日本IBMが持つPQCに関する専門知識とグローバルの動向を基に、影響評価および適用領域の整理を共同で推進します。

^{*}耐量子計算機暗号（PQC）

従来の暗号を短時間で解読できるとされる次世代の高性能計算技術（量子コンピューター）が実用化された場合においても、通信やデータの安全性を確保するための新たな暗号技術。

<人財面の取り組み>

- （3）人財育成および出向受け入れ等の協力
 - ・ サイバーセキュリティ人財の育成に向け、研修、演習、ハンズオンなどの取り組みについて、ニーズに応じた最適な内容や方法を検討し、共同で企画・実施していきます。
 - ・ 両社間での出向受け入れや相互交流を可能にし、実践的な知見を共有します。

(4) 地域金融機関との横断連携による業界全体のセキュリティーレベル向上への貢献

- ・日本IBMが提供する情報共有の場や他の地域金融機関との横断的な協調の場に参加し、早期の脅威検出や事前対処にかかる知見等を共有することで、当社グループのみならず、地域金融機関全体のセキュリティーレベル向上に寄与してまいります。

3. 今後の展望

当社グループは、金融サービスを利用する地域のお客様が安心してサービスをご利用いただけるように、当社のサイバーセキュリティ対策の強化に継続的に取り組むとともに、日本IBMの知見を活用しながら他の地域金融機関とも協力して業界全体のサイバーセキュリティレベルを向上させる枠組みを作ることを目指します。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
山口フィナンシャルグループ IT統括部
担当：吉井 TEL：083-223-4034